

レーザー臨床レポート



株式会社 富士エス・エル・アイ

1. 軟口蓋過長	大阪	こてつ動物病院	桜井先生	弊社ホームページ動画掲載分
2. イボとり	大阪	こてつ動物病院	桜井先生	
3. 口腔内エプリス	大阪	こてつ動物病院	桜井先生	
4. 乳腺腫瘍局所麻酔での切除	大阪	こてつ動物病院	桜井先生	
5. 猫、歯周病	大阪	こてつ動物病院	桜井先生	

	静岡	なかじま動物病院	中島先生
7. 発毛促進	静岡	なかじま動物病院	中島先生
8. 局所麻酔による肛門周囲腺腫切除			
	静岡	なかじま動物病院	中島先生
9. 無麻酔下でのレーザーアブレーション			
	静岡	なかじま動物病院	中島先生
10. 腫瘍に対するレーザーアブレーション			
	静岡	なかじま動物病院	中島先生

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

15. 局所麻酔での耳道拡張 大阪パークサイド動物病院 山田先生弊社ホームページ動画掲載分

17. サーミア 長崎 アゼカリ動物病院 弊社ホームページ動画掲載分

19. 鎮静麻酔下での蒸散 大阪パークサイド動物病院 山田先生 弊社ホームページ動画掲載分

20.耳道拡張 大阪 こてつ動物病院 桜井先生 弊社ホームページ動画掲載分

21 腫物内蒸散 (アブレーション) 高知 市村動物病院 市村先生

22. トイプードル避妊 大阪 ジュニアニマルホスピタル 川上先生

23. コーギー乳腺、避妊 大阪 ジュニアニマルホスピタル 川上先生

24.子宮蓄膿症 大阪 ジュニアニマルホスピタル 川上先生

25.ミニチュアダックス避妊 大阪 ジュニアニマルホスピタル 川上先生

26.眼瞼腫瘍切除 大阪 ジュニアニマルホスピタル 川上先生

27.局所麻酔下での乳腺部分摘出 大阪 こてつ動物病院 桜井先生

28.猫、難治性口内炎 岡山 鈴木動物病院 鈴木先生 弊社ホームページ掲載中

29 猫 腸間膜癒着腫瘍 京都 モーリス動物病院 助川先生

30 犬 口腔内からの排膿 京都 モーリス動物病院 助川先生

- | | | | | |
|-----|---------------------|----|--------------|------|
| 31. | 大口腔内腫瘍 | 大阪 | こてつ動物病院 | 桜井先生 |
| 32. | 猫 口腔内腫瘍 | 広島 | FNP 動物病院 | 林内先生 |
| 33. | 腹腔内潜在精巢 | 広島 | FNP 動物病院 | 林内先生 |
| 34. | 子宮卵巣摘出及び乳腺部分摘出 | 広島 | FNP 動物病院 | 林内先生 |
| 35. | 猫 抜爪 | 兵庫 | ミネルパ動物病院 | 石川先生 |
| 36. | 外耳道腫瘍 | 兵庫 | 垂水オアシス動物病院 | 井尻先生 |
| 37. | 下顎腫瘍 | 兵庫 | 垂水オアシス動物病院 | 井尻先生 |
| 38. | 左側副腎摘出術 | 兵庫 | 垂水オアシス動物病院 | 井尻先生 |
| 39. | 犬、去勢 | 大阪 | げんごろう動物病院 | 西村先生 |
| 40. | 横隔膜ヘルニア整復手術 | 大阪 | げんごろう動物病院 | 西村先生 |
| 41. | 椎間板ヘルニア | 三重 | 伊東獣医科病院 | 伊東先生 |
| 42. | 歯周病 | 三重 | 伊東獣医科病院 | 伊東先生 |
| 43. | 野良猫外傷 | 三重 | 伊東獣医科病院 | 伊東先生 |
| 44. | 猫口内炎 | 大阪 | らく動物病院 | 宮地先生 |
| 45. | 術後疼痛緩和 | 大阪 | らく動物病院 | 宮地先生 |
| 46. | 椎間板ヘルニア術後疼痛緩和 | 大阪 | らく動物病院 | 宮地先生 |
| 47. | ピンセットプローブにて局所麻酔下で切除 | 大阪 | らく動物病院 | 宮地先生 |
| 48. | うさぎ卵巣摘出 | 広島 | FNP 動物病院 | 林内先生 |
| 49. | 舌裏ポリープ | 大阪 | アルファー動物病院 | 権田先生 |
| 50. | 去勢 | 大阪 | ライズ元町動物病院 | 竹下先生 |
| 51. | 猫避妊 | 大阪 | ライズ元町動物病院 | 竹下先生 |
| 52. | 犬避妊 | 大阪 | ライズ元町動物病院 | 竹下先生 |
| 53. | 歯周ポケット切除 | 大阪 | メイ動物病院 | 森本先生 |
| 54. | ICG 照射とレーザーサーミア | 大阪 | メイ動物病院 | 森本先生 |
| 55. | シールハンドピース去勢 | 大阪 | メイ動物病院 | 森本先生 |
| 56. | 骨折に対するレーザー治療 | 大阪 | らく動物病院 | 竹浦先生 |
| 57. | 皮膚外傷に対するレーザー治療 | 大阪 | らく動物病院 | 竹浦先生 |
| 58. | いぼ蒸散 | 大阪 | 淀川中央動物病院 | 菅木先生 |
| 59. | 断脚 | 大阪 | 淀川中央動物病院 | 菅木先生 |
| 60. | 去勢 | 大阪 | 淀川中央動物病院 | 菅木先生 |
| 61. | 去勢 | 大阪 | 淀川中央動物病院 | 菅木先生 |
| 62. | 避妊 | 大阪 | 淀川中央動物病院 | 菅木先生 |
| 63. | 逆まつ毛 | 大阪 | ダクタリ関西医療センター | 大石先生 |
| 64. | 膀胱腫瘍 | 大阪 | アニマ動物病院 | 原本先生 |
| 65. | シールハンドピース避妊 | 大阪 | アニマ動物病院 | 原本先生 |
| 66. | イボ蒸散とアブレーション | 三重 | しのはら動物病院 | 篠原先生 |

1 軟口蓋過長 弊社ホームページ動画掲載分

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

フレンチブルドック オス 1才



3 主訴および現症状

呼吸困難、いびき、散歩に出かけると帰宅後1時間以上ゼいぜい言う

4 治療内容

軟口蓋切除と鼻腔拡張手術

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 連続照射(CW) 3ワット

レーザーによる切開、アリス鉗子を使用し過長部分を把持しレーザーを用いて切除

6 処置後経過

当日よりいびきが無くなり、運動後もすぐに呼吸が落ち着く

7 経過及び成績に対するコメント

フレンチブルドックの手術で再診時には院内で少し院内でゼーゼー音はあったが、経過は良好である。デキサメサゾンを1回手術当日に投与したのみであったが、術後の腫脹や呼吸困難症状はなく食事も当日よりスムーズにできた。



2 イボ取り

1 院名、著者、所在

こてつ動物病院 桜井先生 大阪

2 患畜プロフィール

犬 14才



3 主訴および現症状

イボからの出血（首、肢）

4 治療内容

蒸散によりイボをとる

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ ラウンド 連続照射 7ワット

0.5秒から1秒程イボに直接あてていく、イボが無くなるまで繰り返す

無麻酔で行うので、イボに直接押し当てる動作を数回あるいは数十回繰り返す

6 処置後経過

蒸散後やけどの状態になるので口が届く場合は舐めないようにしないと再度縫合が必要になることがある。舐めたり搔いたりしなければ経過は良好

7 経過及び成績に対するコメント

凍結によるイボとりを一度試していたが、表面が赤くなるだけでイボが取れなかった。レーザー蒸散による方法で簡易にイボが取り除かれ満足していたが、肢にできたイボに関しては犬が舐めてしまい穴が空き再度縫合した。

3 口腔内エプリス

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

ラブラドル オス 4才



3 主訴および現症状

健康診断時に口腔内にエプリス発見
若干歯間の開きが見られた

4 治療内容

無麻酔下でレーザーで切除

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー

照射モード 連続照射 (CW) 3ワット

局麻も麻酔も行っていない。そのため2秒くらいで顔を動かすので5回から6回に分けて照射しエプリスの根元を狙い照射、更に再発防止の意味で切り取った根元にレーザー照射。

エプリスの大きさは4mm

6 処置後経過

出血もなく良好

7 経過及び成績に対するコメント

検診時に初期発見した為、大きさも小さく無麻酔で短時間で処置が終わった。オーナーは腫瘍を無麻酔ですぐに切除できたことで安心して治療に充分納得されたようである。

4 乳腺腫瘍局所麻酔での切除

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

犬 メス 9才

3 主訴および現症状

乳腺腫瘍 直径1cm

4 治療内容

局所麻酔下で乳腺腫瘍摘出

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 連続照射3ワット

指で乳腺を固定し、レーザーで皮膚ごと切除

6 処置後経過

1週間後に抜糸、内出血もなく経過良好

7 経過及び成績に対するコメント

皮膚切開時はメスで切り開いた方が皮膚のか皮形成がなくてよかったように思う



5 猫、歯周病

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

猫 オス 5才

3 主訴および現症状

口臭と流涎、慢性の口内炎により、歯のほとんどの歯肉がカリフラワー状に炎症を起こす

4 治療内容

抜歯と歯周病変のレーザー治療

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 連続照射 (CW) とリピート照射 3ワット

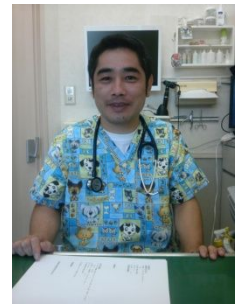
- ① 歯周ポケットにプローブを差し込み歯の全周を照射 リピートモードにて 0.05 秒間隔
- ② 歯肉の炎症部分を赤みが無くなるまで焼く連続照射 (CW)

6 処置後経過

歯肉の炎症がなくなり経過良好

7 経過及び成績に対するコメント

ステロイド併用で月 1 回の注射投薬であったのがレーザー使用で 2~3 カ月に 1 回の処置になった。完治はしなかった。



6 レーザー照射による傷の治癒促進

1 院名、著者、所在

静岡 なかじま動物病院 中島先生

2 患畜プロフィール

シェルティー メス 14 才



3 主訴および現症状

他医院にて 2005 年~2006 年に左膝を中心に腐敗、壊死が見られた、とのことで内科治療をし、その後も体調により悪化し内科療法を続けた。

2009 年に再発し、今まで以上の大きさだったので当院にて切除し血管周皮腫との診断であった。

2011 年再発。切除したが皮膚を寄せきれず術後 10 日で離解したため、開放創として処置、術後 20 日目 (2011/3/9)にレーザー装置購入しレーザー照射を開始した。

4 治療内容

レーザー照射による治癒促進

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー リピート照射 0.5 秒間隔 5 ワット

患部に直接 10 分間照射を毎日行い包帯交換も行う

処置後経過

術後 20 日までは創が悪化していくばかりであったが、レーザー照射後より治癒に向かった。術後 35 日から 60 日まではどんどん上皮化していった。その後ゆっくり回復となった。術後 90 日で完治した。

経過及び成績に対するコメント

術後 60 日まで包帯交換が 1 日 1 回だったが 1 日 2 回にしていれば、もっと早く治癒していたかもしれない。休診日に治癒しないと悪化することもあったので継続が大事であると痛感した。



2011/2/23



2011/3/1



2011/3/5

創にはイントラサイト
ジェルを塗布しハイドロ
コロイドテープを貼った



2011/3/7



2011/3/9

レーザー治療
開始



2011/3/11



2011/3/14



2011/3/19



2011/3/30



2011/3/22

3/20,3/21 が連休であった。



2011/4/2



2011/3/25



2011/4/4



2011/3/28



2011/4/7



2011/4/11



2011/4/28



2011/4/15



2011/5/6



2011/4/19



2011/5/14

レーザー照射最終日、その後 6/1 にすでに完治したとの報告を受けた。



2011/4/23

7 発毛促進

1 院名、著者、所在

静岡 なかじま動物病院 中島先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス メス 6才



3 主訴および現症状

頭頂部の脱毛がみられた。抗生剤の軟こうを使用したところ発赤を生じた。以前、他院にて臍ヘルニアの術後縫合糸肉芽腫を起こしている。

4 治療内容

レーザー照射、同時にシャンプー、オゾン水による洗浄も併用した。

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 5ワット リピート照射 0.5秒間隔

患部周辺に10分間 週2回 (オゾン水シャンプーも)

処置後経過

発毛は1週間後に見られ2カ月で完治した。

経過及び成績に対するコメント

一度脱毛していた皮膚が黒化したが、その後問題なく発毛は続いた。完治してからは週に一回に来院を減らしたところである。



2011/6/24



2011/6/28



2011/7/1



2011/7/5



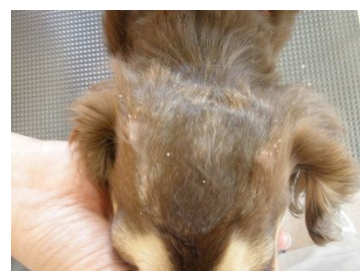
2011/7/8



2011/7/12



2011/7/15



2011/8/10

8 局所麻酔による肛門周囲腺腫切除

1 院名、著者、所在

なかじま動物病院 中島先生 静岡

2 患畜プロフィール

犬 雑種 オス 10才 25kg

3 主訴および現症状

肛門周囲腺腫が自壊したため摘出した。

4 治療内容

局所麻酔にて腫瘍摘出 約10cm

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ チゼルプローブ 連続照射 6ワット

処置後経過

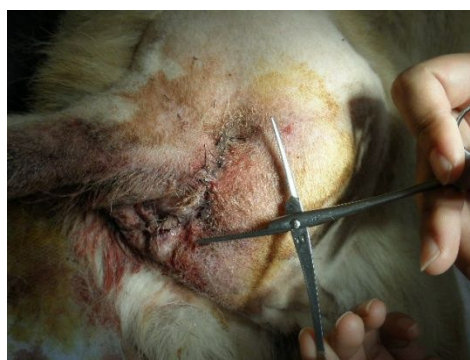
良好

経過及び成績に対するコメント

25kg、局所麻酔下でありながら保定者は一人で処置できた。



2011/6/27



2011/6/27 術後

9 .無麻酔下でのレーザーアブレーション

1 院名、著者、所在

なかじま動物病院 中島先生 静岡

2 患畜プロフィール

猫 雑種 メス 13才

3 主訴および現症状

左肘に肥満細胞腫（高分子型） 1 × 2 c m

飼い主は手術を希望せず

4 治療内容

無麻酔下でのレーザーアブレーション

初診時直径2 c m 自壊あり

1 回目レーザーアブレーション（600ミクロンファイバーで腫瘍内部を蒸散）

2 週間後自壊は無くなり直径1 c mにもう一度施行

照射方法としてレーザーを照射しながら腫瘍に挿入して1～2秒

同じ挿入口から方向を変えながら3方向に行った。

5 レーザー処置

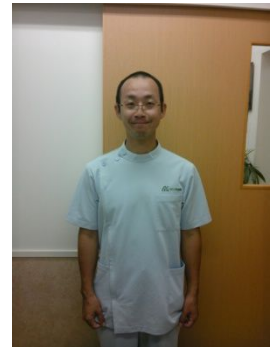
使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 連続照射 5ワット

処置後経過

自壊はなく縮小がみられている。

経過及び成績に対するコメント



10 腫瘍に対するレーザーアブレーション

1 院名、著者、所在

なかじま動物病院 中島先生 静岡

2 患畜プロフィール

犬 雑種 オス 10才

3 主訴および現症状

左趾間に腫瘍ができていた。2～3日間痛みのためか挙上している。

4 治療内容

レーザーアブレーションによる腫瘍の縮小

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 連続照射 5ワット

処置は1回、照射方法としてレーザーを照射しながら腫瘍に挿入して1～2秒
同じ挿入口から方向を変えながら3方向に行った。

処置後経過

翌日より挙上はなくなったため飼い主には喜ばれている。

腫瘍自体の大きさはわずかに減少している程度

経過及び成績に対するコメント

処置後5カ月経過も大きさは変わらず挙上もみられない。



11 猫の爪抜 弊社ホームページ動画掲載分

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

猫 オス 1才



3 主訴および現症状

ソファに爪をたてる等家具が壊れる。

4 治療内容

前肢抜き爪

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 3ワット

術中出血はない

処置後経過

術後1週間後に抜糸

自分で抜糸することもなく、術後疼痛もないのか通常とおり動き食欲もあった。

経過及び成績に対するコメント

1年以上経過するが爪が再生してくることはなかった。



爪の関節部位を切り落とす



出血はほとんどない

12 口腔内メラノーマ

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

ラブラドル オス 11才



3 主訴および現症状

口から出血、口臭がひどい

右口角に直径4cm

4 治療内容

メラノーマ切除後にレーザーで表面を蒸散（焼く）

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ ラウンドプローブ 連続照射（CW） 7ワット

表面を出血しなくなるまで蒸散（焼く）

処置後経過

処置後口臭と出血もなくなり経過良好であったが1カ月で再発

経過及び成績に対するコメント

口腔内にできているものに対してはレーザーによる処置が可能だが、体内に侵潤するメラノーマに対しては効果がなく、脳への転移が進むにつれ顔面麻痺、痙攣をおこした。

13 緑内障 鎮静麻酔での処置

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

マルチーズ オス 12才

3 主訴および現症状

緑内障、3か月前より左眼が大きくなっていた。

飼い主さんの希望で全身麻酔を望まず。

内服アセタゾラント 点眼ファルチモ ラタノプロスト投与するも効果が無くなってきたためレーザーによる毛様帯凝固破壊試行

術前眼圧59 視力は無い

4 治療内容

レーザー緑内障治療

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー シングル照射 1.5~2.0ワット 1秒 30ヶ所

強膜上から照射し内部毛様帯破壊

75%はポップ音確認 濾過効果確認

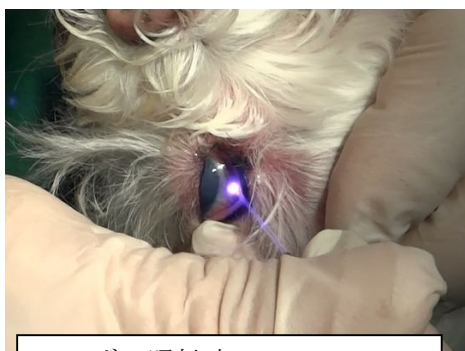
眼球に対して垂直に当たるように意識して照射

処置後経過

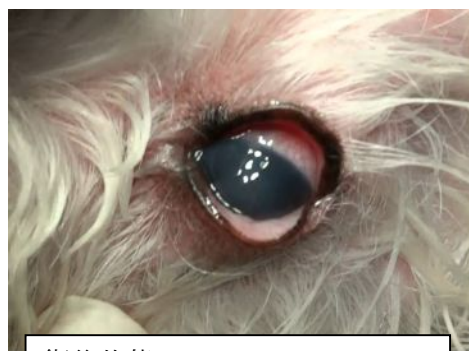
術後眼圧 15

経過及び成績に対するコメント

経過観察中



レーザー照射時



術後状態

14.口腔内メラノーマ レーザーサーミア 弊社ホームページ掲載分

1 院名、著者、所在

パークサイド動物病院 山田先生 大阪

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス 15才 オス

3 主訴および現症状

2009/10/10 膿皮症の治療のため来院、右側の歯肉が腫れていることに気づく

2009/10/22 口腔内腫瘍の疑いから右上顎腫物切除 岐阜病理ラボへ病理検査を依頼

2009/11/04 悪性メラノーマと判明 大阪府大での放射線治療を希望されたが、飼い主様の事情により行われず。

2010/01/21 再び右側上顎が腫れているということで2度目のオペ行う

2010/06/02 メラノーマ再々発を確認



4 治療内容

飼い主様の希望により減容積の目的で鎮静麻酔下でのレーザーサーミア

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ サーミアキット E1000

照射モード リピート照射 5ワット 0.5秒間隔

処置後経過

下記参照

経過及び成績に対するコメント

腫瘍化している腫物には一定の効果があるが、腫瘍の持つ浸潤力に対応できなかったが、さらに広範囲のサーミアを行えば悪性度の強い腫瘍に対してもよい結果を得る可能性ある。



1回目 1日目
2010/6/14

直径縦 1.7cm 横 1.2cm
3w10分 5w10分
セラクター 0.025ml/kg



2回目 8日目
2010/6/21

鎮静下において
5w 18分



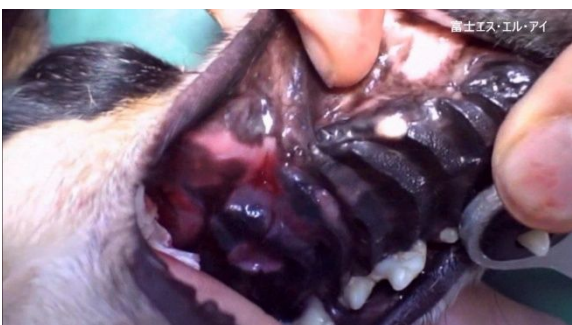
3回目 15日
目 2010/6/28

鎮静
5分 4カ所 20分
腫瘍部は縮小し凹んでいるがその横に新しい増殖
部位が認められる。



22日目 診察のみ
2010/7/5

縮小部位は肉芽繊維で盛り上がってきた。新しい
増殖部位は大きくなってきている。



4回目 30日
目 2010/7/13

頬側に新しい増殖部位あり
右眼球突出している



37日目 診察のみ
2010/7/20

頬側の腫瘍が自壊、顎骨が露出している



5回目 41日目

2010/7/24

さらに奥に新しい増殖部位あり、サーミアにより腫瘍は縮小するも新しい場所に増殖する



48日目診察のみ

2010/7/31

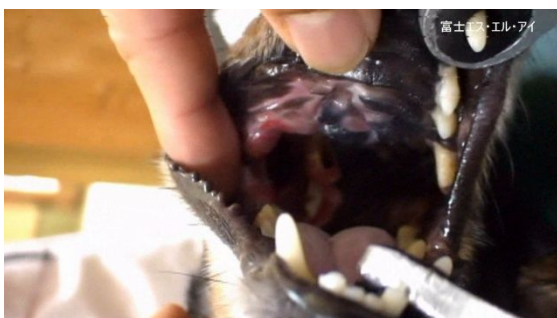
経過良好。



6回目 58日

2010/8/10

対象部位が広範囲に広がってきているため、今回は全身麻酔下でのサーミアおよび腫瘍の減容積の手術も行う



67日目 最後の診察

2010/8/19

経過良好。診察のみ



オーナー継続治療希望せず。

2010/10/2 永眠

15. 局所麻酔下での耳道拡張 弊社ホームページ掲載分

1 院名、著者、所在

パークサイド動物病院 山田先生 大阪

2 患畜プロフィール

シーズ オス 12 才



3 主訴および現症状

耳道内に慢性外耳炎による腫物が多くできていて、それが邪魔をして洗淨ができない。(綿花が入らない) 化膿と悪臭がひどいがオーナーは耳道手術を希望せず。

4 治療内容

局所麻酔下によるレーザー蒸散

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ ラウンドプローブ

照射モード 連続照射 7ワット

約 40 分

処置後経過

下記写真参照

経過及び成績に対するコメント

炎症腫物の蒸散により、術後、明らかに耳道の拡張が認められた



1 回目 1 日目

耳道内にできた腫物をラウンドプローブを押し当てることにより、腫物はどんどんと小さくなっていくが、数回に分けてしっかりと蒸散させる必要がある。
疼痛管理はリドカイン2%の皮内注射による局所麻酔で良好な処置を行うことができた。



処置中



処置後

炭化部位が見られるが、狭窄していた耳道が大きく広がった。



8日目

治癒経過として、周囲は滲出液が漏出している。



14日目

滲出液は減少し発赤が残る



23日目

発赤もほぼ無くなり、良好な状態を示す。

16 創傷治癒促進 弊社ホームページ掲載分

1 院名、著者、所在

やまぐち動物病院 山口先生 徳島

2 患畜プロフィール

猫 オス 3才 Felv (－) FIV (－) 外飼い

3 主訴および現症状

外傷後に患部を舐めることにより、潰瘍が慢性化し、かひ形成が行われない症例

4 治療内容

レーザーによる創傷治癒促進

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー リピート照射 (CW) 3ワット 2分

処置後経過

照射しはじめて反応するまで少し時間を要するが、効果が出始めると反応が早い

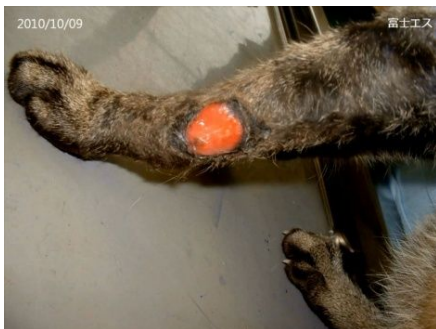
経過及び成績に対するコメント

この猫については性格が少しくつく、数分間の保定に苦労したが、2分程度 (1回) のレーザー照射で有効な結果が得られた。間隔は飼い主の了解が得られれば短い程良いと思う。



2010/09/30

外傷後 4 カ月経過ドレッシング (キチンキトサン) にて治療するがなかなか皮膚形成されず。1回目レーザー照射 3分



2010/10/09

3回目のレーザー照射 2分 少し小さくなってきた



2010/10/23

7回目 3日毎に2分ずつ照射
照射範囲は患部から5mm～1cm 外側から行う



2010/11/05

11回目 開始時の2分の1の大きさに



2010/11/15

14回目 か皮形成促進



2010/11/24

5 日毎の照射に変更
 ほぼ治癒しているが念のためしばらく継続治療



2010/12/06

皮膚形成するもまだ舐める



2010/12/16

20 回目 ほぼ完治

17 サーマミア 弊社ホームページ動画掲載分

1 院名、著者、所在

アゼカリ動物病院 松本先生 長崎

2 患畜プロフィール

雑種 メス 12才 避妊済み



3 主訴および現症状

1か月ほど前から左後肢の指部分が徐々に腫れてくる、直径3.0×3.5cmに増大
オーナー希望により手術希望せず

4 治療内容

レーザーサーミア

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー リピート照射 0.5秒間隔 5ワット 30分

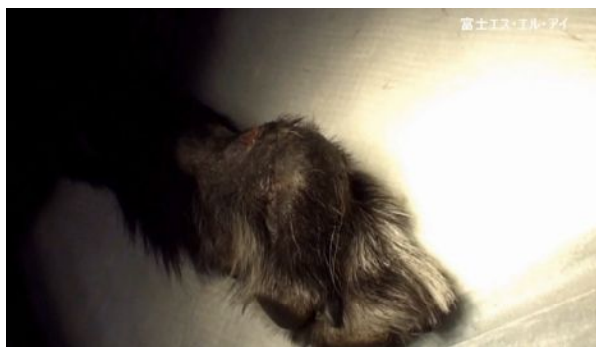
6 処置後経過

下記参照

7 経過及び成績に対するコメント

約1年経過も再発なし。

当初、施術後皮膚の自壊が認められたが、腫瘍自体は縮小に向かっていった。今回は非腫瘍性病変であったが、腫瘍の種類によっては効果が認められると感じた



術前状態 悪性腫瘍を疑ったが非腫瘍性
良性病変であった



サーミア処置中

腫物に対し専用プローブを挿入も堅いため
入らず 600 ミクロンファイバーにて施術



4 日目

自壊を示す



8 日目

自壊部分より浸出液が出て悪化したように
見える

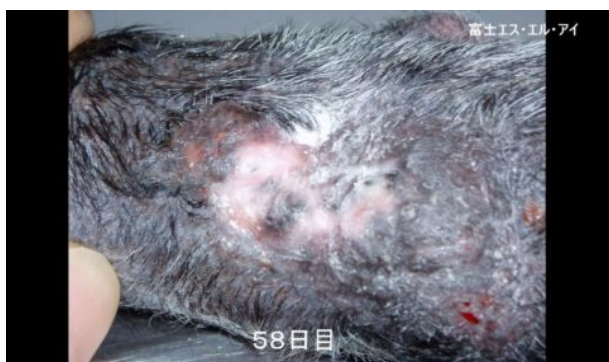


1 2 日目



26日目

かなり改善を示す



58日目

ほぼ完治

18 無麻酔蒸散 弊社ホームページ掲載分

1 院名、著者、所在

パークサイド動物病院 山田先生 大阪

2 患畜プロフィール

トイプードル メス 14才

3 主訴および現症状

老齢性ゆうぜい症

4 治療内容

レーザーによる蒸散

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー

照射モード 連続照射 5ワット

処置後経過

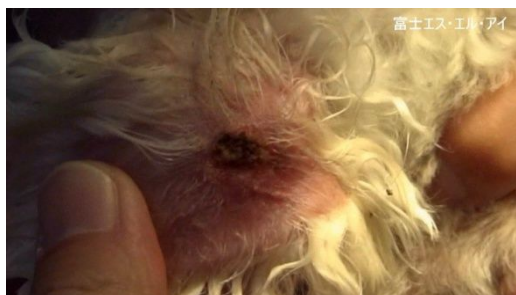
下記写真参照

経過及び成績に対するコメント

レーザー蒸散後から特別な処理を必要とせずに約3週間で瘡蓋、炭化層も無くなり良好な結果を示す



1日目
耳 イボ



処置後



2 日 目



4 日 目



1 0 日 目



2 4 日 目

19 鎮静麻醉下での背中蒸散

1 院名、著者、所在

パークサイド動物病院 山田先生 大阪

2 患畜プロフィール

シーズ

3 主訴および現症状

背中に直径 1.5cm の腫物

口腔内処置後のため鎮静麻醉下で行う

4 治療内容

レーザーによる蒸散

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ ラウンドプローブ

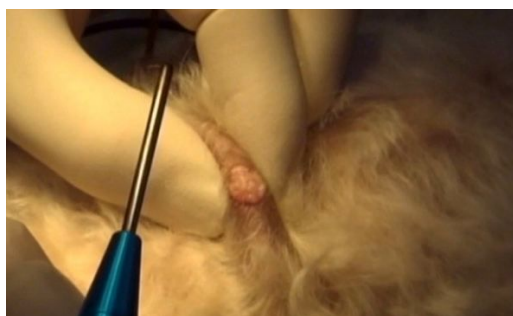
照射モード 連続照射 7ワット

処置後経過

下記写真参照

経過及び成績に対するコメント

レーザー蒸散後から特別な処理を必要とせずに約 3 週間で瘡蓋、炭化層も無くなり良好な結果を示す



1 日目
背中 イボ



処置後



2 日 目



4 日 目



1 0 日 目



1 6 日 目



2 4 日 目

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

アメリカンコッカスパニエル 避妊済み メス 7才

2才から慢性外耳炎 左の耳から悪化し数年後に右耳も同様に悪化した。

外飼いの為、観察があまりできない状況にあった。

5才の時に左外耳道切除術を実施。

術後のコントロールが上手くいかずに再縫合など落ち着くまでに一カ月以上を要した。

その為に右耳はあまり切らずに処置をしたいとオーナーの希望あり

3 主訴および現症状

右耳道内が腫れあがり垂直耳道が全く見えない状態。痒みのコントロールは出来ているが臭いが強く、白色のチーズ様の耳垢が出てくる。病理検査から皮内角化上皮腫、皮内腺腫、炎症性ポリープと診断

4 治療内容

レーザーによる切除

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー 連続照射(CW) 3ワット

6 処置後経過

術前 垂直耳道が全く見えない状態。綿棒も奥へは入っていない。

耳介の炎症と色素沈着等の変化がないことから掻いていないのに耳道内が腫れている。

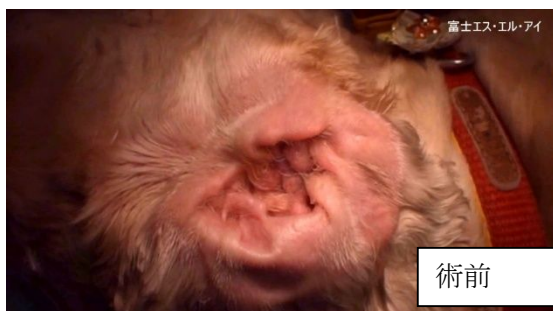
術中 ピンセットで耳道内に腫れている部位を切除。3ワットで切除を行う為に時間を要したが、出血と術後の炎症が少なくすんだ。

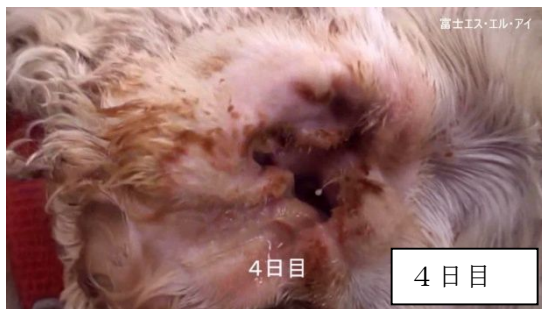
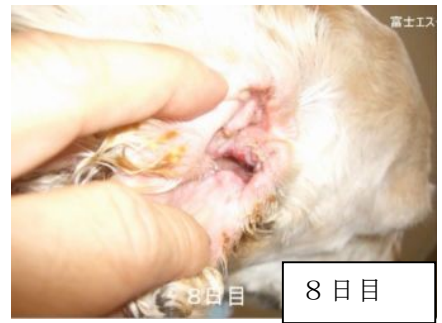
術後 毎日来院してもらい洗浄する前の状態を撮影。エリザベスカラーを装着し、自宅では無処置。

8日目以降は耳からのしょう液も見られなくなり、2週間目以降はエリザベスカラーを付けなくてもよかった。

7 経過及び成績に対するコメント

良性腫瘍による耳道の狭窄が原因のため2カ月後ぐらいから耳道内に小さなポリープが見られ始めた。5カ月後には耳鏡が入らないほどに耳道内が肥厚してきた。





21 腫物内蒸散（アブレーション）

1 院名、著者、所在

高知 市村動物病院 市村先生

2 患畜プロフィール

3 主訴および現症状

4 治療内容

当院においてアブレーションの対象としている患畜は高齢で全身麻酔が行えない場合である。局所麻酔にて行う、リドカインに ICG（インドシアニンググリーン）を用いてレーザー光効率を上げる。一般的にはハイパーサーミア、レーザーサーミアと紹介される事が多いが、当院においては腫瘍内部をレーザーにより熱を加え蒸散させ腫瘍細胞にダメージを与える手技を用いている。一般的に紹介されるサーミアより高温で行う。

5 レーザー処置

使用装置 DOUBLES 810nm

使用プローブ 600ミクロンファイバー リピート照射 5W 0.5秒間隔

腫瘍の両側からプローブを挿入し1か所250秒 1250ジュールに設定している。

装置画面のカウンター、ジュール数で確認している。

処置後経過

経過写真参照

経過及び成績に対するコメント

今まで手が出せなかった腫瘍に対応できる。

一般的なハイパーサーミアより腫瘍縮小効果が高く、短期間で腫瘍の縮小が見られる。

飼い主様の満足度はいずれの症例においても高かった。



ケース1 乳腺腫瘍 シェルティー 13歳 メス

5W 20,000ジュール 1か所 1,250ジュール 1か所 250秒



2011/5/27



2011/6/09



2011/6/17



2011/6/24



2011/7/08

ケース2 乳腺腫瘍 コーギー 11歳 メス

5W 20,000ジュール 1か所 1,250ジュール 1か所 250秒



2011/7/25



2011/8/06



2011/8/09



2011/8/16



2011/8/20



2011/8/26

ケース3 肛門周囲腺腫 雑種 オス

5 W 10,000 ジュール 1 か所 1,250 ジュール 1 か所 250 秒



2011/6/6



2011/6/6 処置中これからプロ
ーブを挿入していきます。



2011/6/10



2011/6/15



2011/6/20

ケース4 乳腺腫瘍 雑種 メス

5 W 20,000 ジュール 1 か所 1,250 ジュール 1 か所 250 秒



2011/6/14



2011/6/18



2011/6/25

22 トイプードル避妊

1 院名、著者、所在

ジュニアニマルホスピタル 川上先生 大阪

2 患畜プロフィール

トイプードル メス 6か月

3 主訴および現症状

避妊手術

4 治療内容

外科的摘出

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ かんし型プローブ 連続照射 5ワット

処置後経過

良好

経過及び成績に対するコメント

縫合糸の使用本数を減らす事ができる



子宮頸部



しっかりシールされている

23 ウェルシュコーギー乳腺腫瘍、避妊手術

1 院名、著者、所在

ジュニアニマルホスピタル 川上先生 大阪

2 患畜プロフィール

ウェルシュコーギー メス 6歳

3 主訴および現症状

乳腺腫瘍 避妊手術

4 治療内容

外科的摘出

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ かんし型プローブ 5ワット チゼルプローブ 6ワット 連続照射

乳腺腫瘍：6Wにて切除

子宮頸部のシール：5W

処置後経過

良好

経過及び成績に対するコメント

乳腺腫瘍摘出術のオペ時間の短縮



24 ミニチュアピンシャー 子宮蓄膿症

1 院名、著者、所在

ジュニアニマルホスピタル 川上先生 大阪

2 患畜プロフィール

ミニチュアピンシャー メス 6歳

3 主訴および現症状

子宮蓄膿症

4 治療内容

子宮卵巢全摘出

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ かんし型プローブ チゼルプローブ 連続照射 5ワット

メスで切皮後の切開にチゼルプローブ使用

子宮頸部のシール：5W

処置後経過

良好

経過及び成績に対するコメント

5ワットで使用、組織も焦げ付かなかった



25 ミニチュアダックス避妊

1 院名、著者、所在

ジュニアニマルホスピタル 川上先生 大阪

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス メス 6か月

3 主訴および現症状

避妊手術

4 治療内容

子宮卵巢摘出術

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ かんし型プローブ チゼルプローブ 連続照射 5ワット

メスで切皮後レーザーにて子宮頸部のシール

処置後経過

良好

経過及び成績に対するコメント

縫合糸の本数を減少



26 シーズー下眼瞼腫瘍

1 院名、著者、所在

ジュニアニマルホスピタル 川上先生 大阪

2 患畜プロフィール

シーズー メス 10歳

3 主訴および現症状

下眼瞼腫瘍

4 治療内容

外科的摘出

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ チゼルプローブ 連続照射 6ワット

メスで切皮後レーザーにて切除

処置後経過

腫れもなく良好

経過及び成績に対するコメント

術中の出血もないので簡易である



27 局所麻酔での乳腺腫瘍の部分摘出

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

シーズー メス 13 歳

3 主訴および現症状

乳腺腫瘍、直径 1 ～ 2 CM のものが 4 カ所

4 治療内容

局所麻酔での摘出

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 3 ワット

切皮から切り取り止血までレーザーで実施

6 処置後経過

術中の出血は皆無

7 経過及び成績に対するコメント

電気メスと違い対極板を必要としないために、抱っこによる処置も可能。



28 猫 難治性口内炎 弊社ホームページ掲載中

1 院名、著者、所在

岡山 鈴木動物病院 鈴木先生

2 患畜プロフィール

猫 メス 5歳



3 主訴および現症状

涎が多く、痛みで餌を食べない。

ステロイドを2～3週間間隔で使用

4 治療内容

麻酔をかけて口腔内をレーザーにより蒸散

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE10 980nm

使用プローブ ラウンドプローブ 連続照射 (CW) 8ワット

炎症部位を蒸散

6 処置後経過

写真参照

7 経過及び成績に対するコメント

ステロイドの継続使用で糖尿病を危惧していたがレーザーを使用したことによりステロイド離脱の期間ができ糖尿病のリスクを軽減できた。疼痛緩和効果により餌を食べるようになり飼い主さんも満足していた。



術前

出血が常になり餌を食べれない状態。



術後

術後痛がる様子にはなかった。
餌は翌日から食べた。



14 日後

出血は止まっていた。
涎も無く食事をとっていた。



35 日後

口内状態もよく、食事をとっている。出血も無い。

約 1 カ月半くらいは口内状態
維持できた

29 猫 腸間膜癒着腫瘍

1 院名、著者、所在

京都 モーリス動物病院 助川先生

2 患畜プロフィール

猫 雑種 オス 8歳

3 主訴および現症状

5カ月前から元気がだんだん無くなってきた。

3, 4カ月前から食欲なし

嘔吐もあり腹腔内マス触知 X線でマス確認



4 治療内容

試験開腹 小腸の近位と遠位で癒着その他大網にも癒着

レーザーで癒着剥離、回腸部壊死、腸内容漏れもあった

回腸から回盲部切除と端側吻合手術、腹腔内部洗浄

5 レーザー処置

使用装置 VELAS 15 810nm

使用プローブ ピンセット型 チゼル 連続照射 (CW) 6W

剥離出来るまで、その都度、動静脈は血管鉗子で止めてピンセット型で焼き切る感じで止血

癒着にはチゼルプローブで力をかけずに切り離す感じ

処置後経過

術後4日で嘔吐下痢は無し

経過及び成績に対するコメント

腸間膜の動静脈をすばやく止血して手術の時間短縮につながり、動物への侵襲の程度も減ったので回復も早かった



30 犬 口腔内からの排膿

1 院名、著者、所在

京都 モーリス動物病院 助川先生

2 患畜プロフィール

マルチーズ 11 歳 オス

3 主訴および現症状

口腔内からの排膿及び口臭、口が開けにくい
慢性の粘膜のびらんによる癒着のため



4 治療内容

右上唇と右上あご臼歯歯肉面の癒着と粘膜びらん面の早期治癒のためレーザー照射

5 レーザー処置

使用装置 VELAS 15 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー チゼル 連続照射 (CW) 6W

びらん面に軽く火傷を負わず程度に 600 ミクロンファイバーを照射

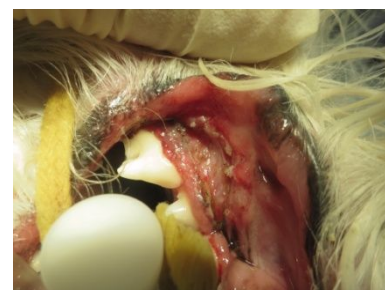
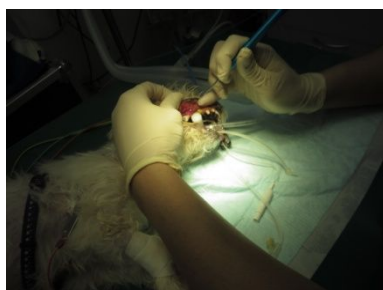
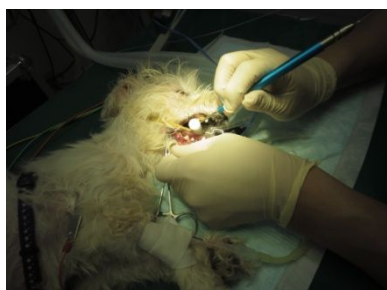
処置後経過

1 週間後口臭は気にならない、癒着部の再癒着なし

粘膜のびらんは良化

経過及び成績に対するコメント

レーザーによる損傷した粘膜の再生は思った以上に効果があったと感じた



31. 犬口腔内腫瘍

1 院名、著者、所在

大阪 こてつ動物病院 桜井先生

2 患畜プロフィール

ラブラドル メス 12 才



3 主訴および現症状

口から出血、涎が多い、口臭がきついで来院

口腔内に 5 × 7 c m のマスあり

4 治療内容

外科的切除後、I C G を用いて焼く

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー チゼル 連続照射 (CW) 6 から 7 ワット

6 処置後経過

1 月 5 日オペ 再発 7 月 11 日再オペ

7 経過及び成績に対するコメント



32. 猫 口腔内腫瘍

1 院名、著者、所在

広島 FNP 動物病院 林内先生

2 患畜プロフィール

チンチラ メス 8歳



3 主訴および現症状

上顎両第1前臼歯 歯周病による歯肉の過剰な増生

4 治療内容

抜歯をすすめたが、オーナー様希望により今回は歯肉のみ切除を行った。

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE 980nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 6ワット

6 処置後経過

今のところ良好

7 経過及び成績に対するコメント

口腔内の処置であったが、ほとんど出血はなかった



処置前



処置後

33. 腹腔内潜在精巣

1 院名、著者、所在

広島 FNP 動物病院 林内先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス オス 1 才

3 主訴および現症状

C-CAST の術前検査にてソ径～腹腔内に右側潜在精巣を確認

4 治療内容

開腹術にて摘出した

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE 980nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 4.5 ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

腹腔内の潜在精巣はあまり牽引できなかったなので、遠位側を 1 回のみ結紮し、レーザーにて切断した。
出血量、縫合糸の量を減らすことができた。



34. 子宮卵巣摘出及び乳腺部分摘出

1 院名、著者、所在

広島 FNP 動物病院 林内先生

2 患畜プロフィール

犬 メス 11 歳

3 主訴および現症状

未避妊

2014 年 2 月上旬 食欲廃絶の主訴で来院

ケトアシドーシス、糖尿病、乳腺腫瘍、卵胞膿腫と診断

ケトン及び血糖値のコントロールを行い一般状態改善

4 治療内容

2014 年 2 月 28 日 子宮卵巣全摘術及び右第 2 乳腺腫瘍部分摘出

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE 980nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 4.6 ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

術野は脂肪が多くまた糖尿病を罹患しているため血管がもろく出血傾向であったが、凝固切開により出血を最小限に抑えることができた。



35. 猫 抜爪

1 院名、著者、所在

兵庫 ミネルパ動物病院 石川先生

2 患畜プロフィール

猫 雑種 18 歳

3 主訴および現症状

家具をひっかいて困る

4 治療内容

抜爪 前肢

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 5 ワット

爪を引っ張りながら関節部を照射

6 処置後経過

良好 18 歳と高齢なため一過性に腎パネルの上昇があったが点滴治療により良化

7 経過及び成績に対するコメント

爪の再生はない



36. 外耳道腫瘍

1 院名、著者、所在

兵庫 垂水オアシス動物病院 井尻先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス オス 10 歳



3 主訴および現症状

外耳道内に 2 カ月前から腫瘍ができ、おおきくなってきており化膿臭がひどい。

4 治療内容

外耳道内の腫瘍切除

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

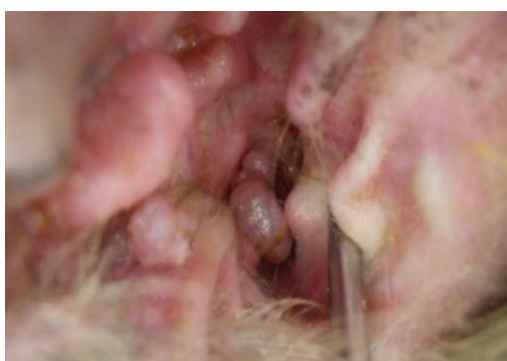
使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 4 ワット

6 処置後経過

レーザーにて腫瘍を摘出し、ビデオオトスコープで観察しながら付着部を蒸散した

7 経過及び成績に対するコメント

耳道内の腫瘍は病理検査の結果、耳垢腺癌であったが、現在まで (6 か月) 再発は認められない。



処置前



処置後

37. 下顎腫瘍

1 院名、著者、所在

兵庫 垂水オアシス動物病院 井尻先生

2 患畜プロフィール

シェルティー オス 13 歳

3 主訴および現症状

下顎に腫瘍が出来ている（直径 5 mm）

4 治療内容

全摘する前に一部切除し病理検査実施。

腫瘍部を鉗で切除したところ、出血が止まらない為レーザーにて止血

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ ラウンド 連続照射（CW） 4 ワット

6 処置後経過

圧迫止血では止血できなかったが、レーザーなら止血化膿であった。

7 経過及び成績に対するコメント

腫瘍からの出血が止まらず苦労したが、止血にレーザーが有効でした。



38. 左側副腎摘出術

1 院名、著者、所在

兵庫 垂水オアシス動物病院 井尻先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス オス 12才

3 主訴および現症状

エコー検査にて左側副腎の腫大が見つかる。

CT 検査、ACTH 試験を実施

4 治療内容

左側副腎摘出術

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ ピンセット コニカル 連続照射 (CW) 4ワット

6 処置後経過

出血もほとんど無く摘出でき、麻酔からも回復

7 経過及び成績に対するコメント

出血量が多くなりがちな副腎手術にレーザーは有用でした。



39. 犬、去勢

1 院名、著者、所在

大阪 げんごろう動物病院 西村先生

2 患畜プロフィール

セントバーナード オス 1才

3 主訴および現症状

去勢手術

4 治療内容

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ シールハンドピース 連続照射 (CW) 6ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

表皮切皮時以外は無血の手術でした、手術そのものに集中させてくれるツールを手にしたという印象です。



40. 横隔膜ヘルニア整復手術

1 院名、著者、所在

大阪 げんごろう動物病院 西村先生

2 患畜プロフィール

猫 メス 10 歳



3 主訴および現症状

交通事故後の呼吸困難

横隔膜ヘルニア確認

4 治療内容

横隔膜ヘルニア整復 OPE

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 6 ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

事故から来院まで10日ほど経過しており実際に開腹してみると腸が心膜や肺に少なからず癒着している状況でした。仮に本機がなければ癒着の剥離に相当な時間と多大な労力を割かねばならないところでしたがあっという間に終わらせることができ手術そのものの時間も大幅に短縮させることができました。

41. 椎間板ヘルニア

1 院名、著者、所在

三重 伊東獣医科病院 伊東先生

2 患畜プロフィール

犬 オス 11 歳



3 主訴および現症状

椎間板ヘルニア、不全麻痺、ふらふらしながら歩く、ナックリング、症状の分類 2 度

4 治療内容

カルトロフェンベット、プレドニゾロン、ダイビタミックス

5 レーザー処置

使用装置 VELAS 810nm

使用プローブ スピンハンドピース 連続照射 (CW) 6 ワット

5 分毎日照射

6 処置後経過

レーザー照射後すぐに変化も見られ、ケージレストと 5 日間処置で歩行可能、排尿、排便も自力で出来る

7 経過及び成績に対するコメント

症状の分類 2 度の症例ではほぼ 5 日で 100% 良好となりその後正常になる。

症状の分類 3 度の症例が 1 例あったが 1 カ月毎日レーザー照射にてほぼ歩けるようになり 3 カ月後正常に歩いている。

症状の分類 4 度では手術となると思うがそれ以外ではレーザーと内科療法で十分可能である。

42. 歯周病

1 院名、著者、所在

三重 伊東獣医科病院 伊東先生

2 患畜プロフィール

犬 メス 6歳

3 主訴および現症状

上下切歯がぐらつく、抜けると心配なのでとのこと

4 治療内容

犬歯と臼歯に少し歯石があったのでスケーリングをし、歯周ポケットにファイバーを差し込みアブレーション

5 レーザー処置

使用装置 VELAS 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー リピート照射 (CW) 1.5 ワット

5分毎日照射

6 処置後経過

3日後経過観察すべてぐらつきが無くなっている。

7 経過及び成績に対するコメント

歯周病の症例すべてにスケーリングのあとレーザー処置をしています。腫脹、発赤も消去し抗生剤の使用も必要なく特にレーザーが効果的に思われます。



43. 野良猫外傷

1 院名、著者、所在

三重 伊東獣医科病院 伊東先生

2 患畜プロフィール

猫 オス 5歳



3 主訴および現症状

左顔面外傷、化膿しているとのこと

4 治療内容

イソジンにて消毒のちインドシアニングリーンを塗布、レーザー照射

5 レーザー処置

使用装置 VELAS 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 8ワット

湿疹している患部は全体に1回のみ照射

6 処置後経過

処置 20 日後のみ観察、ほぼ完治

7 経過及び成績に対するコメント

野良猫のため入院処置はできず1回のみで完治している。

他の野良猫で頸部皮膚壊死及び化膿があり壊死の皮膚を切除のちイソジン消毒のち色素を用いてレーザー照射をした例があるが、6カ月後（処置後逃走したため）毛も生え完治したものもあった。

1度の治療で完治するのでとても有効である。



44. 猫口内炎

1 院名、著者、所在

大阪 らく動物病院 宮地先生

2 患畜プロフィール

猫 メス 不明歳

3 主訴および現症状

重度口内炎、歯周病



4 治療内容

麻酔下でスケーリングの後、歯周ポケットと口腔内粘膜びらん部分をレーザーで処置

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 4 ワット

歯周ポケット；ファイバー先端を挿入、一定時間動かす

粘膜びらん部分；びらん部分の表面を焼絡

6 処置後経過

処置後、出血や食欲不振などの症状消失

経過良好

7 経過及び成績に対するコメント

猫における症状の激しい口内炎にレーザーはおおいに利用できると考える。

45. 術後疼痛緩和

1 院名、著者、所在

大阪 らく動物病院 宮地先生

2 患畜プロフィール

チワワ メス 1才

3 主訴および現症状

膝蓋骨脱臼（右側 内方 グレードⅡ）

脱臼により跛行、立てなくなる、活動性の低下

4 治療内容

観血的整復

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ セラピーハンドピース リピート照射（CW） 4ワット

オペ後、1週間に一回程度、約2カ月

膝関節中心

6 処置後経過

オペ後1週間で初回レーザー開始

オペ後10日目で2回目のレーザー以降立位可能

明らかな疼痛もなく調子もよい

7 経過及び成績に対するコメント

レーザー照射により、術後回復に貢献している印象受けた



46. 椎間板ヘルニア術後疼痛緩和

1 院名、著者、所在

大阪 らく動物病院 宮地先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス オス 9歳

3 主訴および現症状

椎間板ヘルニア (L2-L3)

4 治療内容

片側縫弓切除術により左迫病変を摘出

オペ後のリハビリのツールの1つとしてレーザー処置

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ セラピーハンドピース リピート照射 (CW) 4ワット

0.5秒オン 0.5秒オフ 3分 週1回または2回

術創周囲 (圧迫部位を中心)

6 処置後経過

オペ後、約3カ月後に自立歩行可能

7 経過及び成績に対するコメント

機能回復にどの程度レーザーが貢献しているかは不明であるが、リハビリのツールの一つとして積極的に活用すべきであると考え



47. ピンセットプローブにより局所麻酔にて切除

1 院名、著者、所在

大阪 らく動物病院 宮地先生

2 患畜プロフィール

猫 オス 12才

3 主訴および現症状

右後肢第五趾球に約1cmの有茎状ポリープがあり、腫大傾向、本人が気にして出血させる。
血液検査において、慢性腎臓病が疑われる。

4 治療内容

局所麻酔下でポリープの根元をピンセット型でつまみ切除
(病理診断；限局性、増殖性、足皮膚炎)

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 6ワット

数秒程度

6 処置後経過

ポリープ切除部分に炭化部分見られたものの、腫脹、出血は見られず、本人が気にすることもなかった。

7 経過及び成績に対するコメント

局所麻酔下でかつわずかな時間でポリープが切除できオーナー様の満足度高かった。



48. うさぎ子宮卵巢切除

1 院名、著者、所在

広島 FNP 動物病院 林内先生

2 患畜プロフィール

うさぎ メス 9か月



3 主訴および現症状

2日前より食欲なし

各種検査により重度毛球症による胃拡張および妊娠後期による腹腔内圧迫と診断

4 治療内容

胃切除による胃内容物摘出

子宮卵巢全摘出術

なお、レーザー処置は子宮卵巢切除にのみ使用した。

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE 980nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 4.5 ワット

6 処置後経過

しばらくは食欲の低下が続いたがその後は元気、食欲あり、良好

7 経過及び成績に対するコメント

縫合糸および出血量を減らす事ができた。

ウサギに対しても良好なシーリングが可能だった。

49. 舌裏ポリープ

1 院名、著者、所在

大阪 アルファ動物病院 権田先生

2 患畜プロフィール

トイプードル オス 13 歳

3 主訴および現症状

口臭がひどく流涎あり

4 治療内容

舌裏面にできたポリープの切除、蒸散、歯石とり

5 レーザー処置

使用装置 VELAS 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 2.5 ワット

3 分程度ほぼ連続

ポリープの基部を周りからまんべんなく

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

出血がなくある程度の蒸散もでき満足いく結果である。



50. 去勢

1 院名、著者、所在

大阪 ライズ元町動物病院 竹下先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス オス 6歳

3 主訴および現症状

去勢

4 治療内容

去勢

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE 980nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 4.5 ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント



51. 猫 避妊

1 院名、著者、所在

大阪 ライズ元町動物病院 竹下先生

2 患畜プロフィール

ロシアンブルー メス 1歳

3 主訴および現症状

発情

4 治療内容

避妊（子宮卵巢全摘出）

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE 980nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射（CW） 4ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント



52. 犬避妊

1 院名、著者、所在

大阪 ライズ元町動物病院 竹下先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス メス 1.2 歳

3 主訴および現症状

避妊

4 治療内容

避妊

5 レーザー処置

使用装置 CHEESE 980nm

使用プローブ ピンセット型 連続照射 (CW) 4 ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント



53. 歯周ポケット切除

1 院名、著者、所在

大阪 メイ動物病院 森本先生

2 患畜プロフィール

マルチーズ メス 8歳

3 主訴および現症状

4 治療内容

スケーリング

歯周ポケット切除

歯周ポケットのあった部位のスケーリング

ポリッシング

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 (CW) 4ワット

歯周ポケット部位にファイバーを接触させ切除

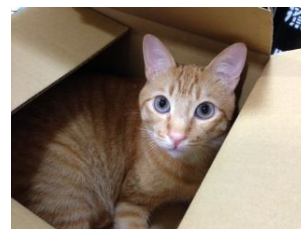
6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

切除部位 2～3 日白っぽい

疼痛なし



54. ICG 照射とレーザーサーミア

1 院名、著者、所在

大阪 メイ動物病院 森本先生

2 患畜プロフィール

ラブラドル オス 15 歳

3 主訴および現症状

皮膚にこぶし大の MASS

4 治療内容

侵潤麻酔（局所麻酔）

MASS の減容積及び自壊部位の出血を減少させるための処置

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー リピート照射 5 ワット 1 か所 20 秒 10 か所

フォーカスハンドピース 連続照射 6 ワット

自壊部に ICG を塗布しフォーカスハンドピースで照射

6 処置後経過

出血量減少して 2 週間後には 3 分の 2 のサイズに減少、その後同じ処置再度する。

7 経過及び成績に対するコメント

容積減少、出血減少、飼い主さん満足



55. シールなハンドピース去勢

1 院名、著者、所在

大阪 メイ動物病院 森本先生

2 患畜プロフィール

チワワ オス 10 か月

3 主訴および現症状

4 治療内容

去勢

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

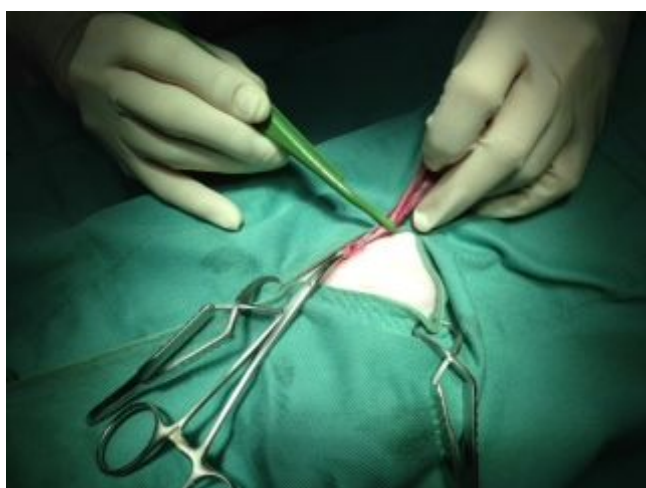
使用プローブ シールハンドピース 連続照射 (CW) 4ワット 5 から 6 秒

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

良好



56. 骨折に対するレーザー治療

1 院名、著者、所在

大阪 らく動物病院 竹浦先生



2 患畜プロフィール

トイプードル 雌 2013.3.24.生まれ

3. 主訴および現症状

左橈尺骨の骨折。外固定にて治療中。癒合遅延。

4. 治療内容

レーザー照射、外固定の継続。

5. レーザー処置

使用装置 BERG

使用プローブ 5W リピートモード

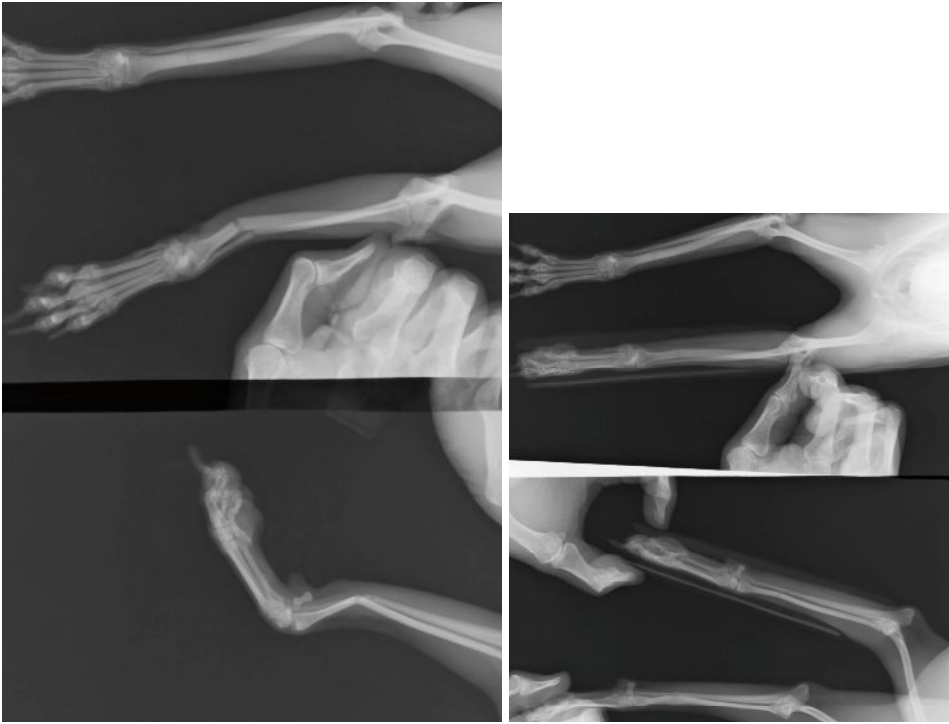
骨折部、骨折部周囲に 5 分間照射

6. 処置経過

癒合不全を起こすものと考えていたが、2 週間後には癒合が進み、
外固定を外す事ができた。

7. 経過及び成績に対するコメント

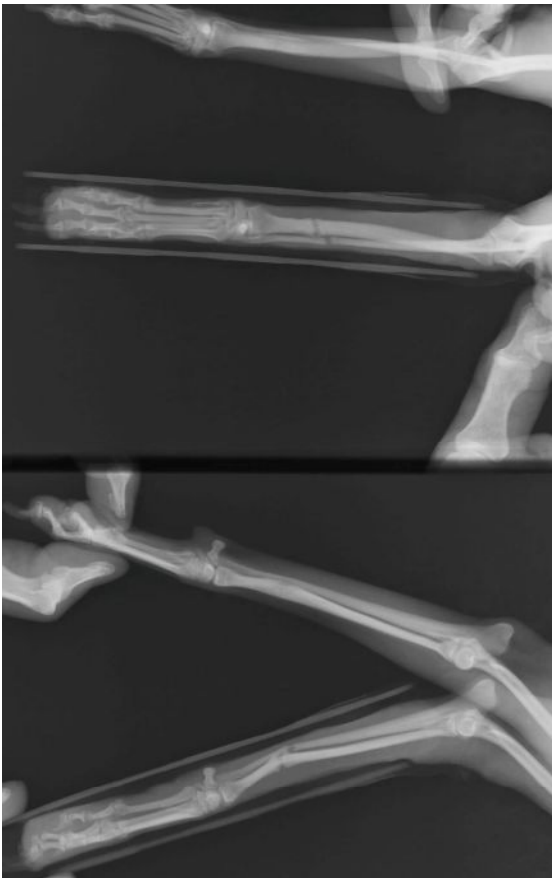
今回はどうしても手術をしないという前提での治療であったので苦慮した。外固定後安静にできずに通常癒合不全を起こすような経過ではあったが、骨治癒も負重ができるほどには回復。また、バンデージの長期圧迫によるものと思われる褥瘡も良くなり、負重も早期に可能となった症例であった。



骨折初日（外固定）



骨折 1 週間目（骨折端屈曲が認められる）



骨折 2 週間目



レーザー照射



骨折 5 週間目（照射開始より 3 週間目）



骨折 7 週目

57. 皮膚外傷に対するレーザー治療

1 院名、著者、所在

大阪 らく動物病院 宮地裕也



2 患畜プロフィール

柴犬 避妊雌 1999.5.29 生まれ

3. 主訴および現症状

両側前肢の皮膚外傷（数週間動物用の服を着せたままにしたためと思われる）で来院。

4. 治療内容

一般的な外傷消毒と抗生剤などの投与で 2 週間、治癒遅延と判断。

レーザー照射を開始。

5...レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ 4W 3分 リピート照射 セラピーハンドピース

連日で開始、後週に 2 回の照射

6. 処置経過

高齢であることもあり、一般的な外傷消毒や抗生剤の投与では創の治癒速度が非常に緩慢であり、前肢の体重負重も困難な状態であった。レーザー処置開始より徐々に体重負重ができるようになり、肉芽組織形成、上皮形成など治癒速度も早くなった。

7. 経過及び成績に対するコメント

外傷部位が肘関節部周囲であったため体重負重が難しく、鎮痛剤投与が必要と思われたが、レーザー照射により疼痛管理と創傷治癒促進の両方が有効であった症例と思われる。



レーザー治療前の両前肢



レーザー治療 1 週間目



レーザー治療 4 週間目



レーザー 9 週目

58. いぼ蒸散

1 院名、著者、所在

大阪 淀川中央動物病院 菅木先生



2 患畜プロフィール

猫 オス 12才

3 主訴および現症状

右背中に昔からいぼがあり気になる 2mm大

4 治療内容

レーザーにて蒸散

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ コニカル 連続照射 (CW) 8ワット

リング状に複数点状に蒸散 MASS 除去後に根をとるためさらに蒸散させた

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

良好

59. 血栓塞栓症からの壊死前肢の断客

1 院名、著者、所在

大阪 淀川中央動物病院 菅木先生



2 患畜プロフィール

シェットランドシープドック メス 13才

3 主訴および現症状

リンパ肘に続発した血栓により循環不全をおこし左前肢が虚血状態になった。QOL向上のため断脚手術を行った

4 治療内容

断脚（左前肢）

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ コニカル 連続照射（CW） 8ワット

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

良好

60. 去勢

1 院名、著者、所在

大阪 淀川中央動物病院 菅木先生



2 患畜プロフィール

犬 オス 10 か月

3 主訴および現症状

去勢手術

4 治療内容

精巣除去

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ ピンセット 連続照射 (CW) 3 から 5 ワット

1 回で血管をシール (時間 10 秒)

端に挟んで 1 回で血管を焼き切る

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

良好

61. 去勢

1 院名、著者、所在

大阪 淀川中央動物病院 菅木先生



2 患畜プロフィール

犬 オス 3歳

3 主訴および現症状

去勢手術

4 治療内容

精巣除去

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ ピンセット 連続照射 (CW) 5ワット

6回 各10から20秒

精管、精巣動脈、静脈、ソウ鞘膜をピンセット型で挟むような形で照射

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

良好

62. 避妊

1 院名、著者、所在

大阪 淀川中央動物病院 菅木先生



2 患畜プロフィール

猫 メス 不明

3 主訴および現症状

子猫出産後、避妊目的のために避妊手術を希望

4 治療内容

避妊手術

5 レーザー処置

使用装置 BERG 810nm

使用プローブ ピンセット 連続照射 (CW) 3ワット

2回 各 10 秒

卵巣付近を左右 2 カ所ピンセット型で挟みこむようにして照射

6 処置後経過

良好

7 経過及び成績に対するコメント

良好

63. 逆まつ毛

1 院名、著者、所在

大阪 ダクタリ関西動物医療センター 大石先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス

3 主訴および現症状

結膜充血、流涙、逆まつ毛

4 治療内容

麻酔下レーザーによる脱毛処置

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー シングル 3ワット 0.3秒

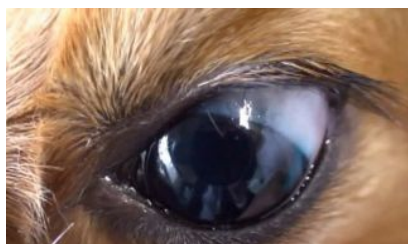
逆まつ毛生え際に照射

6 処置後経過

麻酔下にて焼絡脱毛処置

7 経過及び成績に対するコメント

処置部に関する再発は無し



術前



術中



2日後

64. 膀胱腫瘍

1 院名、著者、所在

大阪 アニマ動物病院 原本先生

2 患畜プロフィール

シーズー メス 12才



3 主訴および現症状

膀胱移行上皮癌による出血慢性化 頻尿 1日10回以上

4 治療内容

膀胱腫瘍部マージン5mmとって全層切除 膀胱三角部は温存

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ チゼル 連続照射 7ワット

残存する膀胱組織側をしっかり冷やしながら少しずつ切除

6 処置後経過

術直後より出血停止、排尿良好

丸2年経過現在再発なし尿の異常もなし、頻尿回数3から4回に

7 経過及び成績に対するコメント

レーザー使用による膀胱粘膜の損傷が心配だったが全く問題なし癒合も良好で術中の出血が少なくレーザー使用によるメリットは大きいと思われました。

65. シールハンドピース避妊

1 院名、著者、所在

大阪 アニマ動物病院 原本先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス メス 12才



3 主訴および現症状

乳腺腫瘍切除に伴い避妊手術を行うことに。発情遅延あり

4 治療内容

両側卵巣及び子宮全摘出

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ シールハンドピース 連続照射 8ワット

5秒くらいでやめ何度かに分けて

6 処置後経過

片側を少しずつ反対側も少しずつ最後に電気メスでカット

7 経過及び成績に対するコメント

ダックスなので縫合糸の反応が心配なところレーザー使用で少なくとも臓器の糸が残る時間がない事で炎症反応の確率を下げる事ができ安心して手術ができる。



66. イボ蒸散とアブレーション

1 院名、著者、所在

三重 しのはら動物病院 篠原先生

2 患畜プロフィール

ミニチュアダックス メス 16才



3 主訴および現症状

背中 of 腫瘍 (1.5×1.5cm) 自壊

肛門周囲腺腫 (3.0×3.0cm) 自壊

高齢のため手術希望せず。

4 治療内容

背中 of 腫瘍はレーザー切開、蒸散

肛門周囲腺腫は自壊部位から 600 ミクロンファイバーで腫瘍内部を蒸散し照射方法としてレーザーを照射しながら腫瘍に挿入し 2～3 秒で方向を変えながら行った

5 レーザー処置

使用装置 VELAS15 810nm

使用プローブ 600 ミクロンファイバー 連続照射 4ワット

6 処置後経過

7 経過及び成績に対するコメント





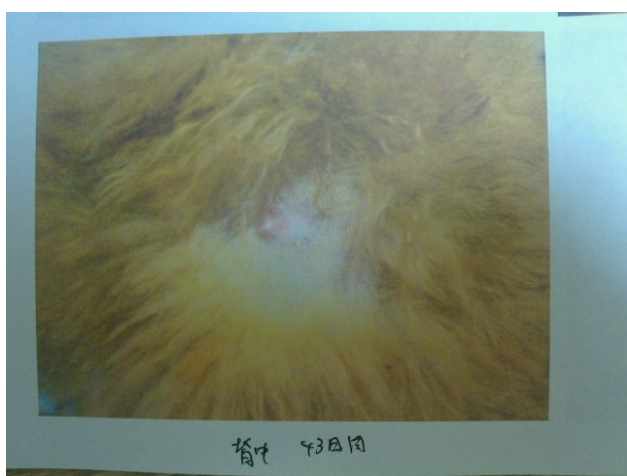
背中 旧目(レーザー後)



背中 5日目



背中 24日目







肌肉 43分12



肌肉 48分04



肌肉 第2 52分04



